

2025年（令和7年分） （年末調整の主な改正点と対策）

2025年（令和7年分）の年末調整では、基礎控除や給与所得控除の見直し、特定親族特別控除の創設など、税負担の公平化や子育て世帯への配慮を目的とした重要な改正が適用されます。特に「103万円の壁」が実質的に引き上げられるなど、従業員の方の税額計算や申告書記入に大きな影響が出るため、実務担当者はもちろん、従業員の方への丁寧な情報提供と周知が不可欠です。

2025年（令和7年分）年末調整の主な変更点

1. 基礎控除と給与所得控除の引き上げ

主に低所得層・中所得層の税負担を軽減するため、控除額が段階的に引き上げられます。

基礎控除

- ・合計所得金額に応じて控除額が細分化・引き上げられます。
例えば、合計所得金額が132万円以下の場合、従来の48万円から95万円に増額されます（時限措置含む）。
- ・合計所得金額が高くなるにつれて控除額は段階的に減少し、2,350万円超では控除額がゼロになる点は従来通りです。

給与所得控除

- ・最低保障額が従来の55万円から65万円に引き上げられます（給与収入190万円以下の方が対象）。
- ・この改正と基礎控除の引き上げにより、給与収入が160万円以下であれば所得税の課税所得がゼロとなり、実質的に「103万円の壁」が「160万円の壁」に引き上げられます。

2. 特定親族特別控除の創設

年齢19歳以上23歳未満（大学生世代等）の親族について、新たに「特定親族特別控除」が創設されました。

対象者

- ・19歳以上23歳未満の親族で、合計所得金額が58万円超123万円以下の者。

控除額

- ・親族の所得金額に応じて3万円から63万円が控除されます。この控除は、当該親族を扶養している納税者（従業員）の税負担を軽減するものです。

3. 扶養親族等の所得要件の改正

基礎控除・給与所得控除の改正に伴い、扶養控除や配偶者控除などの適用を受けるための所得要件も引き上げられます。

扶養控除、同一生計配偶者、ひとり親控除（子）

- ・控除対象となる親族の所得要件が、従来の「合計所得金額48万円以下（給与収入103万円以下）」から、「合計所得金額58万円以下（給与収入123万円以下）」に引き上げられます。

勤労学生控除

- ・所得要件が「合計所得金額75万円以下（給与収入130万円以下）」から、「合計所得金額85万円以下（給与収入150万円以下）」に引き上げられます。

実務上の注意事項

1. 申告書の様式変更

従来の「給与所得者の基礎控除申告書 兼 配偶者控除等申告書 兼 所得金額調整控除申告書」に「給与所得者の特定親族特別控除申告書」が統合され、1枚で4つの申告ができる新たな様式に変更されます。

申告書の配布・回収時には、従業員に記入方法を周知する必要があります。

2. 所得要件の確認

扶養親族等の所得要件が改正されたため、特にアルバイトやパートで働く配偶者や子がいる従業員に対して、新たな所得上限（例：123万円の壁）を明確に伝え、控除対象となるかの確認を促しましょう。

3. システム対応の確認

給与計算や年末調整に使用しているシステムが、改正後の基礎控除額の段階的な適用、給与所得控除の最低保障額の引き上げ、そして特定親族特別控除の計算に正しく対応しているかを事前に確認することが極めて重要です。

文●セブンセンス社会保険労務士法人 マネージャー 秋葉 泰

お年
知ら
せの
年末年始

拝啓 貴社ますますご盛業のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当事務所の年末年始は下記の通り休業させていただきます。
ご賢察のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

【年末年始の休業日】

2025年12月26日（金）お昼12時（正午）から2026年1月4日（日）まで

日頃のご愛顧に心より御礼申し上げますとともに、
来年も変わらぬお引立てのほど、宜しくお願い申し上げます。

敬具

セブンセンスグループ

- ・セブンセンス税理士法人
- ・セブンセンス行政書士事務所
- ・株式会社東京ビジネスセンター
- ・株式会社セブンセンスファーム
- ・7TH SENSE GROUP SINGAPORE PTE. LTD.
- ・セブンセンス社会保険労務士法人
- ・セブンセンスFAIR株式会社
- ・株式会社東京税経センター

■東京赤坂オフィス
〒107-0052 東京都港区赤坂2-12-10
HF溜池ビルディング7階

■東京銀座オフィス
〒104-0061 東京都中央区銀座8-18-3
銀座加藤ビル2階

■東京上野オフィス
〒110-0005 東京都台東区上野1-19-10
上野広小路会館7階

■北海道釧路オフィス
〒085-0816
北海道釧路市貝塚2-19-14



たった30秒！

Please check out our English YouTube page!
英語で「Topics」をYouTubeにて配信中！

ネイティブスピーカーのスタッフが、日本の税制やビジネス、そのほかさまざまなトピックスを、30秒間でコンパクトに英語で発信。情報収集や英語のヒアリングなどに、ぜひご活用ください！

Seventh Sense Group Channel

YouTubeサイト内[Seventh Sense Group]で検索・登録！

<https://www.youtube.com/channel/UCiZ0YyTxji7HpALT0Lc101Q/>

もうすぐクリスマス。「サンタさん」が頭を悩ませる季節ですが、子どもの欲しがるプレゼントの定番はテレビゲーム機。年末商戦の主役ですが、その販売戦略の裏側には昨今の日本を取り巻く複雑な事情が見え隠れしています。

大人気の任天堂「Nintendo Switch」の後継機「Nintendo Switch 2」(今年6月発売)には、日本語のみ対応の「国内専用版」(税込49,980円)と、全世界対応の「多言語対応版」(税込69,980円)の2タイプがあります。国内専用版は2万円安く設定されています。

また、ソニーの「PlayStation 5 デジタルエディション」にも11月下旬、「日本語専用版」(税込55,000円)が登場。発売済みの「多言語版」(税込62,979円)より約8,000円安い販売価格です。

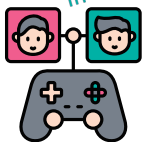
このように、国内向けモデルに「日本語設定のみ」という制限を設け、その分グローバルモデルよりも価格を抑える販売戦略の背景には、主に二つの要因が考えられます。

ひとつは転売問題への対策。品薄の商品が国内の再販市場や、海外へ高値で転売されるのを防ぎ、国内ユーザーに行き渡らせる目的で、価格を抑えつつ「技術的な障壁」を設けています。

ふたつめは急速な円安によるコスト増への対応。海外生産が多く、部品もドル建てのため、円安が原価を押し上げています。メーカーは国内消費者の購買力低下を考慮し、「日本語専用版」でコスト増を一部吸収し、競争力を維持できる価格帯を実現していると言えます。

円安によるコスト増を一部吸収しながら、競争力を維持できる価格帯を実現していると考えられます。価格設定一つにも、メーカーが円安の荒波の中で販売を維持するための知恵と努力が詰まっているのです。

Can only be played in Japanese.



A~Dに入る数字を足すといくつになるでしょう?
解答は、次月号で掲載します。

4				1		7	
	3		2				5
				8		6	
7		4					8
			4		2		
	5					3	1
		8		7			
5					9		1
	6		3				2

解答欄

$$\boxed{A} + \boxed{B} + \boxed{C} + \boxed{D} = \text{合計}$$

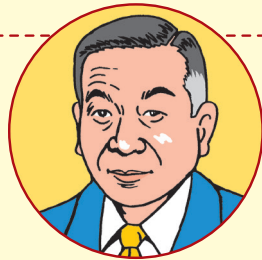
11月号の答え

$$\boxed{2} + \boxed{1} + \boxed{7} + \boxed{1} = \text{合計 } 11$$

先達に学ぶ。

「基礎の
積み重ねで打ち
建てた世界一」

内藤多仲 (建築家)



名古屋テレビ塔、2代目通天閣、さっぽろテレビ塔、東京タワー。これらはすべて同じ人物が設計した。建築家、内藤多仲である。

1886年、山梨県で生まれた内藤。第一高等学校を経て、東京帝国大学進学。建築構造を学び、耐震構造について研究を深めた。大学院に進むと、学生ながら早稲田大学で講師を務めることに。大学院卒業後は、正式に早稲田大学で教授となった。内藤、当時26歳だ。

1917年、内藤にアメリカ留学の話が舞い込む。留学では、マンハッタンの高層ビルなどを見学した。そしてこの留学が内藤に気づきを与えたといわれる。正確には渡航時に「壊れたトランク」が。

帰国後も耐震構造の研究を進める内藤。そこで、渡航時にトランクが壊れた原因が、中の仕切りを外したことだと気づく。これをヒントに耐震壁による耐震構造理論を考案。理論に基づいて構造設計に携わった日本興業銀行本店と歌舞伎座は、関東大震災でも無事だった。

さて1925年。日本ではラジオ放送がスタート。拠点は同年に建った東京放送局(現・NHK)愛宕山放送局鉄塔で、設計は内藤だ。内藤はさらに数々の塔を設計後、当時世界一高い塔の設計を依頼される。エッフェル塔を超える高さ333mの塔だ。膨大で複雑な計算が必要で、内藤は「積み重ね、積み重ねても、また積み重ね」と基礎の重要性を説いたという。こうして1958年に竣工されたのが東京タワーだ。内藤はこれらにより1962年に文化功労者顕彰を受けた。

東京タワーをはじめ、各地に残る鉄塔は今も多くの人に愛されている。そのすべてが積み重ねた基礎の賜物であることは間違いない。

Book Review
今月の一冊専門家も驚いた
遺言・相続の内輪話

- 編著：セブンセンス税理士法人
- 出版社：金融ブックス
- 価格：2,200円(税込)
- 発売中

いつ誰にでも思いもよらぬことが起こり得る?! 「自筆証書遺言に捺印がなく無効になった」「家族に内緒で法定相続人を増やし、心理的にこじれた」など、思いがけない相続の場をストーリー仕立てで解説。よくある問題や、想定外の珍しい話まで。遺言や相続の流れを押さえながら、基本知識を得ることができる一冊。

kinyubooks.co.jp


今月、この日に何があった?

1982年12月4日
映画「E.T.」が日本で上映される

1982年6月にアメリカ、12月に日本でも公開された映画「E.T.」。スティーブン・スピルバーグ監督によるこのSF大作は、世界興行収入で約7億9291万ドル。日本でも135億円という空前の大記録を樹立。これは、1997年『もののけ姫』に抜かれるまで、日本国内の歴代トップの記録であった。70年代後半からの「未知との遭遇」、「スターウォーズ」などSFブームの中の作品だが、少年と宇宙人の交流を描いた冒険と心温まる展開が、若者だけでなく幅広い客層に届きヒットとなった。指と指を合わせる仕草、50才以上の方ならやったことがあるはず。